

日本語 A「言語と文学」における自己管理スキルの育成について

日本語 A 担当 石井光貞

1. タスクと時間の自律的な管理

- ・特に自己管理スキルが求められる単元においては、「タスクと時間を自分で管理・調整できるようになる」ことを単元計画の目標欄に書いたり、口頭で伝達したりして意識づけを行っています。
- ・単元計画や宿題等は必ずオンライン上 (Managebac) に記載し、他科目の課題締切も見据えながら計画的に課題に取り組めるようにしています。
- ・可能な範囲で単元課題等の執筆時間を授業時間内で設定し、限られた時間のなかで集中して取り組むことの重要性を伝えています。

2. 学習ツールの活用手段の提示

生徒自身が学習プロセスのモニタリングと自己修正を行い、また自身に合わせた学習方法を確立できるよう、学習ツールとその活用方法の具体を提示しています。

<学習ツールの具体例>

Notion や Google document、Good notes (iPad) によるポートフォリオ作成
生成 AI による語彙力強化
オーディオブックの使用によるテキスト理解
文字起こしサイトを活用した IA (内部評価) 対策

3. マインドセットの管理

・文学、非文学テキスト分析のスキルは努力の結果がすぐに現れたり、段階的に伸長するものではありません。長い「下積み時代」が必要でありかつ、突然のブレイクスルーがあること、結果が出ない時期であっても粘り強く取り組むことの重要性について伝達しています。また、結果が出ない時期の方策についても具体的に提示しています。